



# 伊高通信

令和5年度  
第1号  
2023.7.20  
発行

編集・発行／岩手県立伊保内高等学校  
PTA事務局／同窓会事務局  
九戸村大字伊保内1-61-12  
TEL (0195) 42-3122  
<http://www2.iwate-ed.jp/ibn-h/>

本校では、総合的な探究の時間を活用した「伊高むらおこし会社」や地元小学生を対象とした「九戸村地域こども読書会」、郷土芸能委員会による江刺家神楽の伝承活動など九戸村唯一の高校として地域貢献を目指した積極的な活動を展開しています。その他にもボランティア活動等にも積極的に参加しています。今年度は郷土芸能委員会が7月末から鹿角島で行われる全国高等学校総合文化祭に出場を予定しており、その他にも映画製作等、生徒達の

昨年度より引き続きPTA会長に就任致しました千葉利行と申します。歴代のPTA会長同様に精一杯職務を全うしたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

私自身も本校の卒業生であり、自分の妻と子供二人も本校にお世話になりました。自分自身が在学していた頃と同様の地域密着型で、進学・就職の両面を安心して任せることのできる数少ない学校だと思っております。

昨年度まではコロナ禍において、学校行事や部活動など様々な活動自粛がうたわれ、活動にも制限が課されておりました。しかしながら、今年5月には新型コロナウイルス感染症は五類感染症に位置づけられ、マスク生活も緩和されつつあります。今年度からはコロナ禍以前と同様、あるいはそれ以上の活動ができるようになるのではないかと期待されます。生徒達にはより充実した学校生活を堪能してほしいと考えております。



## 「新年度をむかえて」

PTA会長 千葉利行

活躍を目にする場面が多くなりそうに感じます。村民の皆様にも伊保内高の活躍を見ていただき、頑張っている生徒をこれからも応援していただければ幸いです。

一方、本校における最近の一番の課題としては、生徒数の確保が挙げられると思っております。今年度も東京都・長野県からの県外、近隣市町村からの生徒に入学して頂き、最低人数はなんとか確保することができました。それでも、年々児童生徒数が減少していく中、毎年の課題になっていくことだと思っております。最近では制服代や給食の無償化等、金銭面でのアビールが目立っており、生活や活動面での魅力を以て生徒数の確保ができるようになっていきたいと思います。そのためには地域の方々、教育関係者の方々からご意見を頂きながら、伊保内高校をより魅力的な学校にしていくことが必須です。皆様には是非ご協力をお願い致します。

九戸村の宝であります生徒達には一度きりの高校生活を全力で楽しみ、いい思い出だけがたくさん残る学校生活となるよう、PTA・保護者一同応援していきたいと思っております。

一年間ではあります、精一杯頑張つて参りますのでよろしくお願ひ致します。

## 令和5年度 PTA総会開催

5月9日(火)本校視聴覚室において、令和5年度PTA総会を開催いたしました。

会員75名中、出席者18名、委任状53名での開催となりましたが、昨年度の会計決算報告、今年度の事業計画案及び予算案が可決されました。

令和5年度の役員は下記のとおり承認されましたので、今後も会員の皆様にはご協力のほどよろしくお願い致します。

### 令和5年度役員名簿

No	役職	氏名	No	役職	氏名
1	会長	千葉利行	16	理事	山本裕子
2	副会長	畑中誠	17	〃	堂ヶ澤美穂子
3	〃	山本裕子	18	〃	中野剛
4	〃	和田伸一	19	〃	中村吉幸
5	〃	高橋国博	20	〃	野辺地博子
6	監事	畑中誠	21	〃	古舘孝博
7	〃	中野剛	22	〃	米沢里美
8	〃	大崎裕子	23	〃	和田伸一
9	母親委員長	久保千鶴	24	〃	古里裕幸
10	母親委員(副委員長)	梶本道代	25	〃	遠藤香
11	理事	山本弘樹	26	〃	大石健紀
12	〃	秋元麻美	27	〃	大野美代子
13	〃	桐川熱子	28	〃	小原広子
14	〃	目黒光弘	29	〃	福田孝彦
15	〃	山本ゆかり			

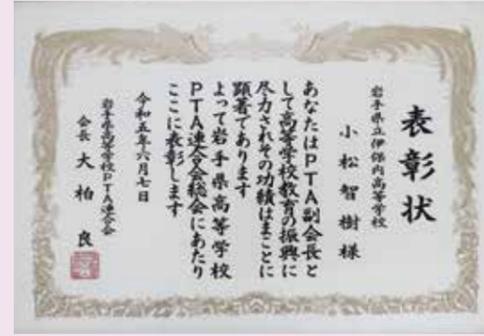


## 岩手県高等学校PTA連合会定期総会

6月7日(水)、岩手県高等学校PTA連合会定期総会並びに研究協議会がサンセール盛岡で開催されました。総会の功労表彰では、本校からは小松智樹氏(前PTA副会長)が表彰され、表彰状を受け取って参りましたこと、皆様にもご報告申し上げます。

研究協議会では「自転車の安全利用について」県復興防災部消防安全課主査 今村真氏、県警察本部交通企画課課長補佐 岩野公伸氏よりお話し頂きました。

今年4月1日より施行された「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例(岩手県自転車条例)」に関連して、自転車も車両であること、



努力義務である保険への加入等について説明頂きました。(全生徒、全国高P連の賠償責任保険制度に加入していますので、問題ありません) 続いて「海と希望の学校(東京大学大気海洋研究所の挑戦)」と題して青山潤氏(東京大学大気海洋研究所教授、大槌沿岸センター長)より、ご自身の研究内容にも触れながら、大槌高校生との関わりについてご講演をいただきました。生徒が簡単な作業を手伝うことから繋がる探究の心、さらにはその情報の発信の仕方など本校としても参考になることが多く、高校魅力化にもつながられる内容でした。

## スポーツ大会にて 母親委員による豚汁提供

スポーツ大会二日目の6月23日(金)、母親委員15名が豚汁を調理して下さいました。約100食の豚汁を母親委員が4グループに分かれて調理し、昼食時には学年ごとに生徒が鍋を教室に運び、各自よそって頂きました。

具沢山の美味しい豚汁で、どのクラスも完食しました。閉会式の前には、実行委員長から母親委員の皆様へ感謝状が贈られました。



## 23名の新入生を迎えて

4月7日(金)本校体育館において、コロナ禍における来賓等人数の制限はありましたが、晴山村長をはじめ、千葉PTA会長、大久保同窓会長、中村部活動後援会長のご臨席を賜りながら厳粛の中で入学式が挙行されました。

本年度も地域みらい留学を活用しての県外入学二期生、東京都と長野県からの2名を加え、23名の新入生を迎えました。若干緊張した面持ちではありましたが、無事に呼名を終え、入学を許可されました。

入学式終了後はPTA入会式を実施し、3年間の役員と理事を決め、最後は体育館で記念写真を撮影しました。伊保内高校の新しい風となる新入生の今後の活躍に期待します。

